

# ダンスと身体1 「身体と知覚—ダンスの身体から—」

講演&ワークショップ

山田せつ子(ダンサー・コレオグラファー)

ダンサーは身体をどのように知覚していくのだろうか?

コンテンポラリーダンサー・山田せつ子氏の講演と

舞台映像・ワークショップから解読していく

2012年10月27日(土) 14時—

入場無料

東京大学駒場キャンパス 東京都目黒区駒場3-8-1  
コミュニケーションプラザ 身体運動実習室1  
(大学生協の建物3階)

※のりたんぽワークショップがあります。着替などの必要はありません



山田せつ子 Yamada Setsuko

明治大学演劇学専攻在学中、笠井毅主宰「天使館」で即興舞踏を学ぶ。独立後、ソロダンスを中心に独自のダンス世界を展開し、日本のコンテンポラリーダンスのさがげとなる。1989年にダンスカンパニー枇杷系を主宰。2000年～2009年、京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科教授をつとめ、次世代のコレオグラファー／ダンサーを育てる。現在、同大学舞台学科客員教授、舞台芸術研究センター主任研究員

University  
of Tokyo  
Center  
for  
Philosophy

主催：東京大学大学院総合文化研究科付属 共生のための国際哲学研究センター (UTCP)  
共催：東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻 表象文化論コース

UTCP <http://utop.c.u-tokyo.ac.jp/>